



2025年8月期 決算説明資料

2025年10月10日（証券コード 5129）



クラウドネイティブなテクノロジーをさらに進化させ 世界的に広がる生成AIビジネスを成長の起爆剤として FIXERは生まれ変わります

生成AIは単なる技術革新以上の変革をもたらし、日本の職場にある閉塞感を根本から変える可能性を秘めています。

面倒な文章作業、時間を奪いつづける管理タスクを迅速に処理し、私たちが本当に重要な仕事に集中できれば、日本からたくさんの世界一が生成されると我々FIXERは信じております。

クラウドと生成AIによって日本社会が進化していくとき、まずは我々FIXER自身が生成AIによって生産革命を起こし、かつての生産性を上回っていくことがつぎの成長のための大切な一歩であると考えております。

目次

・ 2025年8月期 業績	P. 3
・ 事業ハイライト	P. 11
・ GaiXerの進捗	P. 20
・ AI SaaS元年の成長戦略	P. 27
・ Appendix	P. 34

01

2025年8月期 業績

2025年8月期 通期サマリー

決算ハイライト

■ 業績予想（2025年5月28日 適時開示）

通期売上高 3,808百万円

通期営業利益 ▲1,814百万円

■ 通期業績（連結）

売上高 3,980百万円（5月28日開示予想比+172百万円）

営業利益 ▲1,729百万円（5月28日開示予想比+85百万円）

事業ハイライト

- ・ AIエージェント『GaiXer Medical Agent』10病院で導入決定
- ・ 『GaiXer Medical Agent』サービスラインナップ拡充
- ・ GenU版『GaiXer』開発
 - ※ 『GaiXer Medical Agent』については前期の導入決定が間に合わずに17期にずれ込んだ
 - ※ 『GaiXer Medical Agent』は顧客の要望に応じてさらに機能も拡充中
 - ※ GenU版『GaiXer』は11月から本格提供開始予定

GaiXer
Enterprise AGI Platform

REVENUE GROWTH
IN Q2

REVENUE SURGED IN Q2

AIMING TO BECOME
THE MARKET
LEADER IN AI SAAS

+ OPERATING & ORDINARY
PROFIT ABOVE PLAN

+ NET INCOME BEAT
EXPECTATIONS



通期 業績概要（2025年8月期業績予想に対する実績）

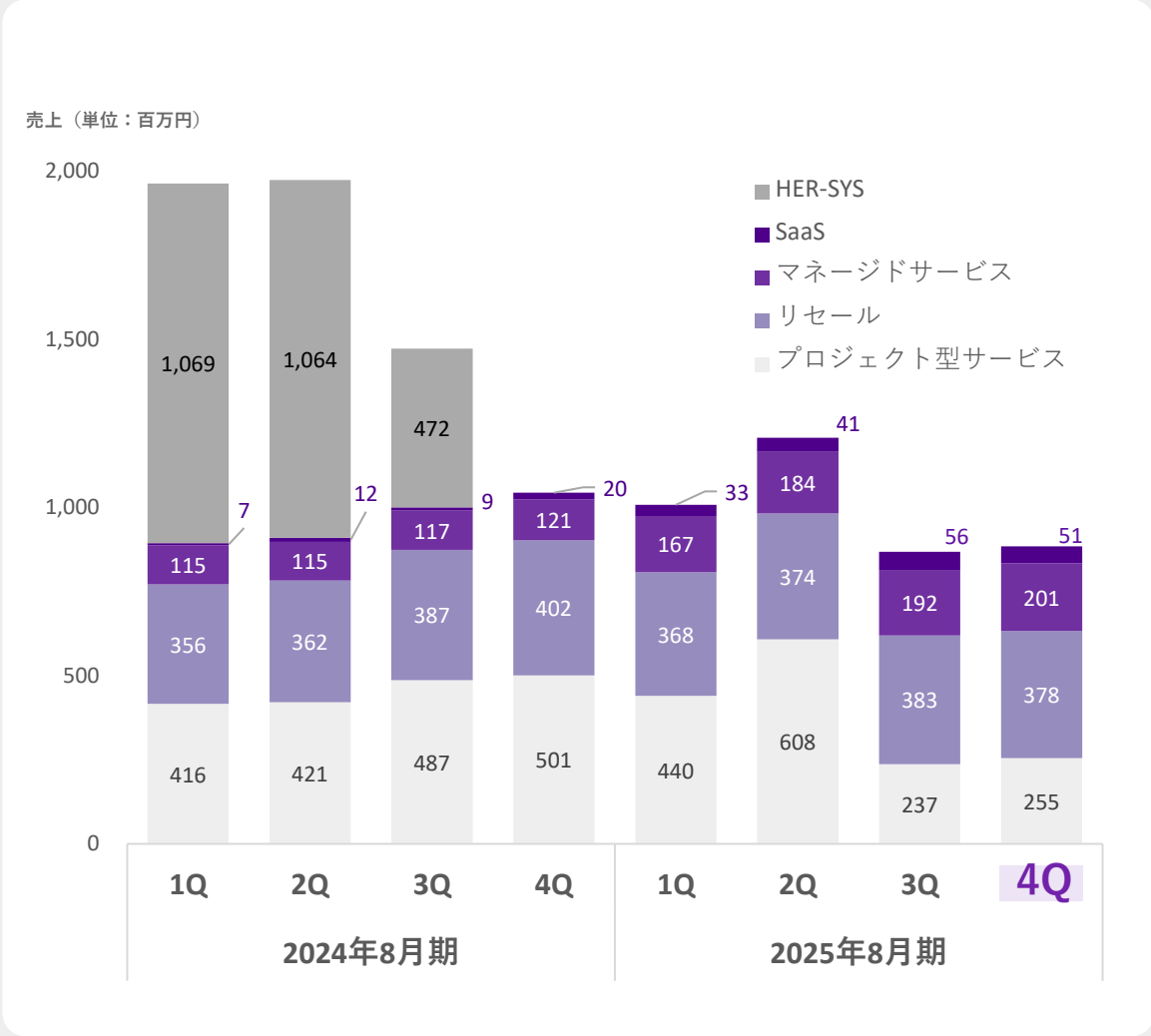
計画比で売上高+172百万円、営業利益+87百万円、経常利益+90百万円と計画以上の着地となった
純利益は減損損失の計上および繰延税金資産の取崩しの影響により、△464百万円となった
『GaiXer Medical Agent』の導入が当期末までに完了できなかったことで連結売上高は3,980百万円に着地した

	2025年8月期 修正計画（連結）	2025年8月期 実績（単体）	2025年8月期 実績（連結）	修正計画（連結） vs 実績（連結）
売上高	3,808	3,982	3,980	+172
売上原価	3,518	3,498	3,498	△20
売上総利益	289	484	482	+192
販売費および一般管理費	2,107	2,208	2,212	+105
営業利益	△1,817	△1,724	△1,729	+87
経常利益	△1,810	△1,712	△1,719	+90
税金等調整前当期純利益	△1,810	△2,048	△2,055	△245
法人税等合計額	△153	65	65	+219
当期純利益	△1,656	△2,114	△2,120	△464
親会社株主に帰属する当期純利益	△1,654	-	△2,117	-
売上総利益率	7.6%	12.2%	12.1%	+ 4.5pt
営業利益率	△47.7%	△43.3%	△43.4%	+ 4.3pt
経常利益率	△47.5%	△43.0%	△43.2%	+ 4.3pt
販管費率	55.3%	55.5%	55.6%	+ 0.2pt

（単位：百万円）

通期の売上推移の概況

3月末終了案件の影響で、プロジェクト型サービスの売上高がYoYで減少



〈概況〉

- 4Qは5月開示の修正計画をやや上回る着地
- 医療DXビジネスを推進するGaiXer Medical Agentのサービス拡充
- 営業体制の強化を図ったことで商談案件数が改善

〈事業目標〉

3 Q 生成AIのエージェント化
行政・金融・医療の世界に
GaiXer Agent（※1）を提供

4 Q エンタープライズAGI
エンタープライズシステム向け
GaiXerによるCI（※2）の進化

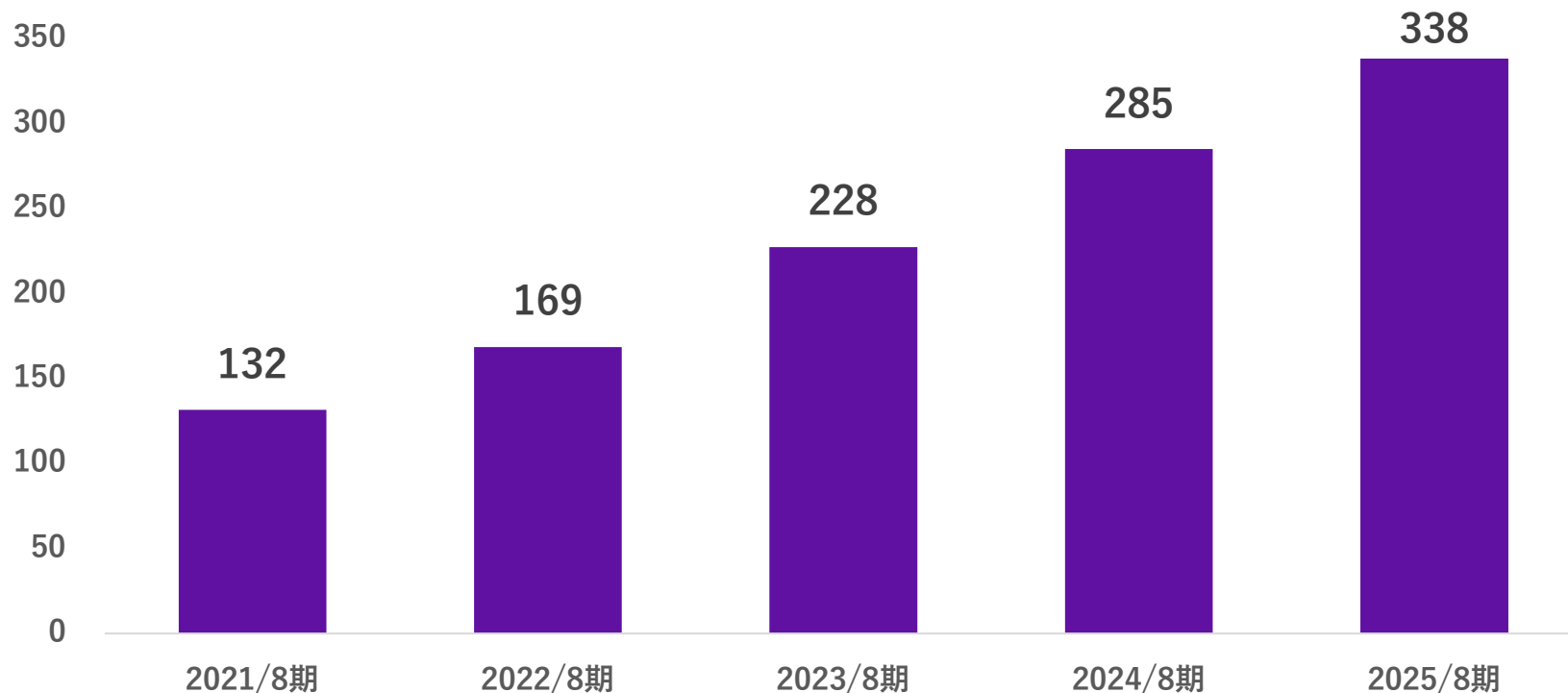
〈ビジネスモデル別ハイライト〉

プロジェクト型サービス	中小型案件へのリソースシフト
リセール	既存取引先との取引が安定的に推移
マネージドサービス	大規模イベント案件等が継続
SaaS	今期中の実績作りに集中

従業員数の年度別推移

これまで年平均約60名のペースで増員を確保してきたが、2026年8月期は若手人材の早期育成に注力することで新卒採用人数の抑制を計画

(単位：人)



主要費用科目の四半期推移

人材投資を継続的に実施しつつ外注費を削減、広告宣伝費に関しては当初の計画通り実施

(単位：百万円)

	2024年8月期				2025年8月期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
人件費	482	456	500	561	561	543	592	623
地代家賃	125	125	127	127	127	127	128	124
外注費	164	132	97	75	93	107	57	28
広告宣伝費	63	20	10	3	26	4※	23	19

※インセンティブ還元による
費用調整あり

貸借対照表

現預金比率は68.7%、自己資本比率は83.7%と引き続き高水準を維持

(単位：百万円)

	2024年8月期末 (単体)	2025年8月期末 (連結)	増減
流動資産	5,854	4,144	△1,709
固定資産	735	348	△387
資産合計	6,590	4,493	△2,097
流動負債	703	683	△19
固定負債	10	2	△7
負債合計	713	685	△27
株主資本	5,875	3,760	△2,115
新株予約権	1	1	△0
純資産合計	5,877	3,807	△2,069
負債純資産合計	6,590	4,493	△2,097
自己資本比率	89.2%	83.7%	△5.5pt

キャッシュ・フロー計算書

当期純損失の計上により、前期比の営業キャッシュ・フローは△421百万円となった
今後は事業拡大及び成長投資に備え、機動的な資金調達を検討する

	2024年8月期 通期（単体）	2025年8月期 通期（連結）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△626	△1,047	△421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△65	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18	43	+62
フリー・キャッシュ・フロー	△660	△1,112	△452
現金及び現金同等物の期末残高	4,154	3,085	△1,069

02

事業ハイライト

医療業界における着実な布石

GaiXer Medical Agent 10病院への導入が決定

- ・ メディカルAIソリューションズでのGaiXer Medical Agent の販売が本格化
- ・ 10病院（合計で約5,500床規模）での導入が決定
- ・ 3ヶ月で1,000時間の業務短縮実績
電子カルテからアプリを起動するだけでAIによるサマリ文章が瞬時に表示

「GaiXer Medical Agent」によって医師の働き方改革と
医療DXによる病院の経営改革を推進

導入前イメージ



導入後イメージ



GaiXer Medical Agent の拡販準備

- ・ 2025年8月期の取扱いサービスは退院サマリーのみであったが、看護サマリー、診療情報提供書、診断書など医療文書生成サービスラインナップを増やし医療現場の業務改善に大きく寄与することを計画
- ・ 直販体制だけでなく、代理店経由での販売にも着手することで更なる販売加速を計画

自律的で効率的なAIエージェントである「GaiXer Medical Agent」を
各病院に提供し、医療現場にイノベーションを起こします

サービスラインナップ強化

退院サマリー
看護サマリー
診療情報提供書
診断書

販売体制強化

直販（紹介）
直販（問合せ）
代理店販売

GaiXer Medical Agent の進化

- ・ AIによる医療文書生成サービスのみならず、オプションサービスも拡充
音声入力、AI問診システム、業務自動化システムなど8種類のオプションサービスを開発中

GaiXer Medical Agent

上記サービスの導入により、厚生労働省「ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的取組を行うモデル医療機関調査支援事業」にて補助金が採択された病院が4病院



電子カルテ等への
音声入力



院外からの
電子カルテ閲覧



医療関係者間
コミュニケーション



患者向け
動画説明



外来診療
WEB 予約システム



電子問診
AI 問診システム



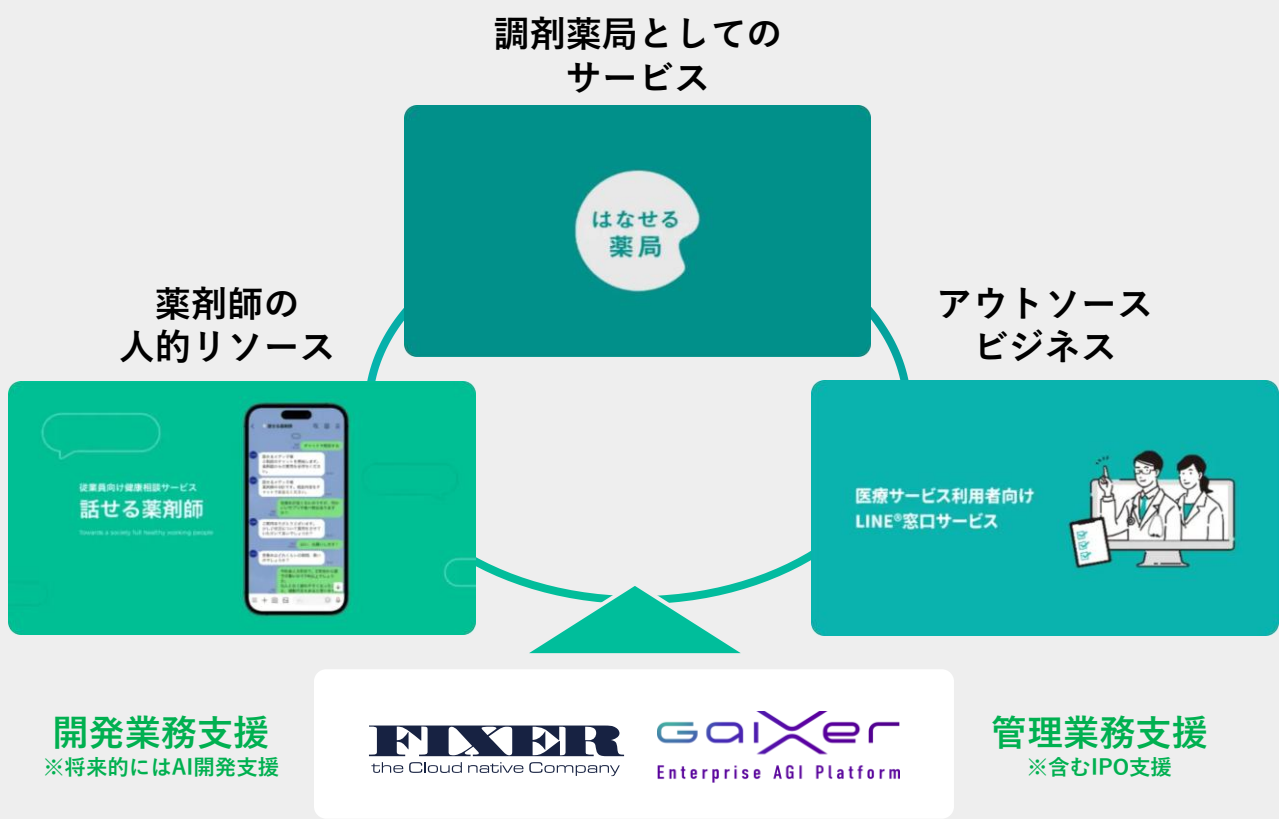
同意取得の
電子化



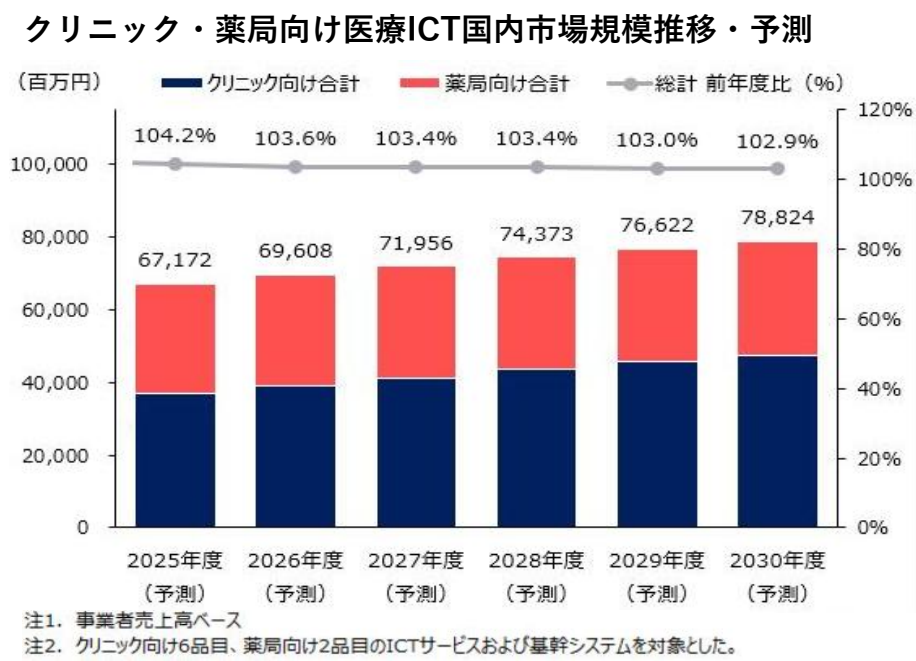
日常業務等の自動化
システム (RPA)

話せるメディカル株式会社との更なる事業提携に向けた資本関係強化の協議開始

- ・ 2025年4月資本業務提携契約を締結後両社間で事業を推進してきた
- ・ 事業提携によって両社が確実な事業成長を確認
- ・ オンライン診断/服薬指導/処方箋の市場において重要なプレイヤーとなることを目指す



当該企業の参入する市場



出典：矢野経済研究所「2025年版 医療ICT市場の現状と展望 ～クリニック・薬局市場編～」から抜粋（令和7年2月28日）

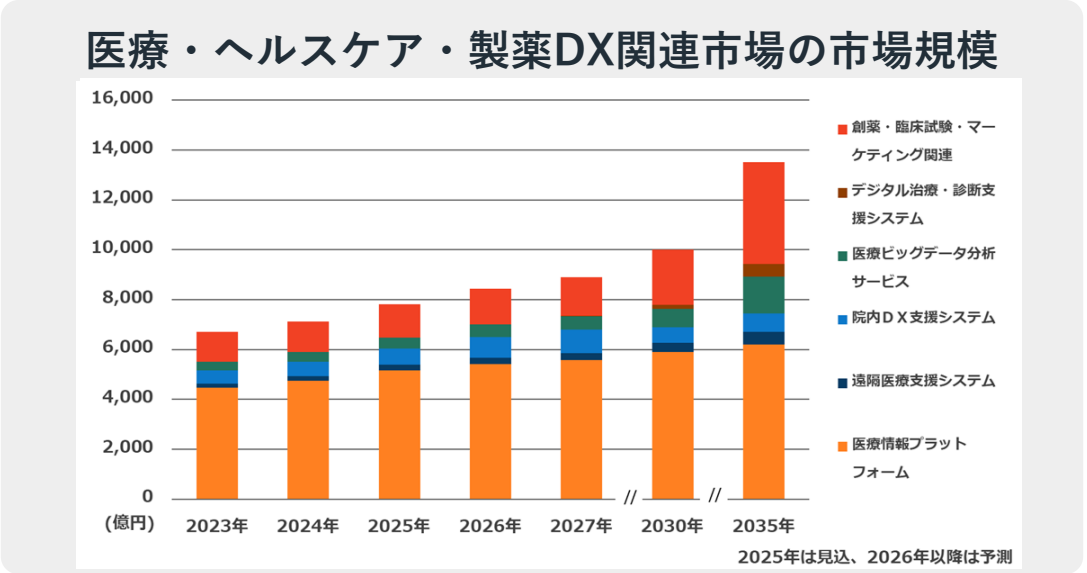
当社の捉える医療DX市場

政府の方針と当社が取り組む医療DXの方向性はベクトルを同じくしている

6/13に内閣府から発表された「経済財政運営と改革の基本方針2025」の中で、医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現が明言されたことは、当社の医療DX事業には追い風となっていく

7/10締切の厚生労働省「ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的取組を行うモデル医療機関調査支援事業」経由でも4病院での採択と追い風になった

当社の医療業界DXへの準備状況と今後の展望		
	現状	2026年度（計画）
医療文書自動生成	α 版開発済	全国展開
医療情報PF領域	α 版開発済	各病院との提携
電子処方箋/ 治験情報管理	提携検討中	実用化開始



出典：富士経済「2025年版 医療・ヘルスケア・製薬DX関連市場の現状と将来展望」から抜粋（令和7年8月25日）

FIXERが貢献する医療DXのロードマップ

医師の作業負担が大きい医療文書の作成支援から着手し、将来的には病院内にある様々な医療データを集約して2次利用を可能とする医療情報連携システムを構築することで医療DXに貢献していく



本市場に本格的に参入し、マーケットリーダーを目指す

GaiXerを中心とした事業展開を通じて日本社会の生産性向上に貢献

労働生産性が低く、
テクノロジーによる生産性向上余地が
大きい業界をターゲット

- いまだにオンプレが台頭する産業
- Labor intensiveな旧来型の産業



GaiXer 金融
Enterprise AGI Platform

クラウドバンキング

GaiXer 行政
Enterprise AGI Platform

ガバメントクラウド

GaiXer 医療
Enterprise AGI Platform

電子カルテ・レセプト

GaiXer
Enterprise AGI Platform

映像・製造業等

国民の生活基盤を支える産業にフォーカス

クラウド・AIの活用による生産性向上
インパクトが大きく、付加価値の高い分野に集中

生成AIフル活用ドラマ制作事例（10月放送）

三重テレビ55周年×中広『地域みっちゃく生活情報誌®』30周年記念事業

周年スペシャルドラマ

やおよろず

Y A O Y O R O Z U

2025年10月11日^土

20:00～20:55

[再放送] 2025年10月13日(月・祝) 17:00～17:55

主演

剛力 彩芽

監督・脚本

秦 建日子

生成AI

【ストーリー概要】

「神話」「現代」「終戦直後（過去）」という三つの時代・世界が交錯するミュージカルドラマ。
神代の物語「天岩戸神話」を起点に、再び世界に訪れた“闇”に立ち向かう神々の使命と、現代に転生した彼らの姿、そして人間たちとのつながりを描いています。三重を舞台に、神々が現代に転生し、人々と共にゾンビに象徴される闇、現代人の心の闇と戦いながら「光」を取り戻そうとするストーリーです。

三重テレビ開局周年記念スペシャルドラマ「やおよろず」では、FIXERの生成AI技術が映像制作の新たな可能性を切り拓きました。本作では、生成AIを活用して撮影素材に合わせた背景や情景を自動生成し、従来はスタジオセットやロケーション撮影でしか実現できなかった多彩な映像表現を、短期間かつ低コストで実現。これにより、制作チームは限られた期間でも高品質な映像を制作し、撮影現場における負担軽減・制作効率化・コスト最適化を同時に達成しました。

FIXERの生成AIがもたらす「スピード × クオリティ × クリエイティビティ」の融合が、テレビドラマ制作の新たなスタンダードを提示しています。

03

GaiXerの進捗

事業構造転換の進展

2023年4月のGaiXerリリース以降、事業構造変革に注力し、成長への足固めを行った

■GaiXerの質的進化

RAG性能向上、マルチモーダル対応

政府のセキュリティ評価制度であるISMAP-LIU特別措置サービスリストへの登録、LGWANへの対応

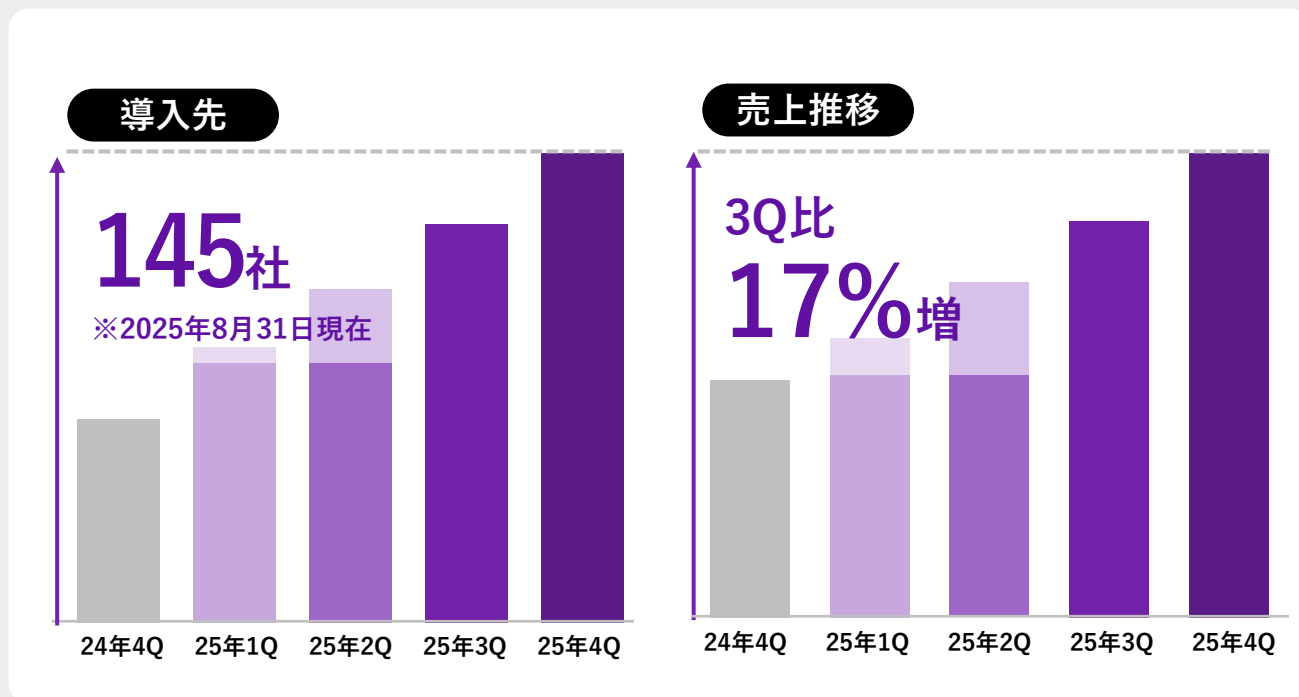
■医療DX分野のサービス開発

オンライン資格確認、電子処方箋サービス等の医療DXの中核となる標準型電子カルテα版の開発

生成AIによる医療文書の自動作成を実現

■GaiXer利用の伸長

事業の成長ドライバーであるGaiXerの展開が本格化



エンタープライズAGIプラットフォーム GaiXer 導入事例

GaiXerは100社以上の企業や官公庁や自治体等にご利用いただいております、
どなたでも便利に活用可能なUI/UXや、安全性とセキュリティを評価されています



※アルファベット順

生成AIを活用した生産性向上に向けた取り組み



■生成AIエキスパート派遣サービス 試験導入 9月開始

医療事務を対象とした試験導入を開始

1. 即戦力投入

生成AIの業務への適用を実現できるタレントが業務ごとのプロンプトセットを自在に活用。配属初日から生産性を“格上げ”します。

2. 価値の見える化

生成AIの寄与率・成果KPIをリアルタイムでトラッキングし、数字で証明。クライアントは投資対効果を明確に把握できます。

3. 継続的な価値提供

導入後もGaiXerのプロンプトライブラリを随時アップデート。タレントとAIが成長し続けることで、長期的な業務改善サイクルを実現します。

FIXER
the Cloud native Company

生成AI時代の即戦力を育成する人材育成講座

GaiXer Academy
Enterprise AGI Platform

を提供開始

基礎から応用まで、
ビジネスの現場で生きるプロンプトと分析スキルを習得

■生成AI 即戦力育成講座「GaiXer Academy」10月開始

生成AIのポテンシャルを最大限に引き出すためのプロンプトと、それを用いた実践的なビジネス分析スキルが習得できます。

1. ビジネスの現場で生きる実践的スキル

リサーチ、戦略分析、マーケティング分析といったビジネス遂行に不可欠な思考力を、生成AIを活用しながら体系的に学びます。

2. プロンプトの習得

AIから質の高い回答を引き出す技術を、基礎から実践まで段階的に学びます。

3. 豪華な講師・監修陣

経営学やデータサイエンス、情報システム学の第一線で活躍する専門家が講師・監修を務め、質の高い学びを提供します。

※当社プレスリリースより抜粋

広島県福山市へ生成AIの技術サポート研修を提供

FIXER
the Cloud native Company

×



福山市

FIXER、 広島県福山市へ 生成AIの技術サポート研修を提供

職員の業務効率化と行政サービス向上を目指し、
2025年度より開始

■概要

福山市では、多岐にわたる行政業務や急速な社会情勢の変化への対応が求められる中、文章作成、資料作成、議事録作成といった日常業務の効率化を図るため、2024年6月からFIXERのエンタープライズ向け生成AIサービス「GaiXer（ガイザー）」の利用を開始しています。

2025年8月～10月にかけての技術サポート研修は、「GaiXer」を導入している福山市職員を対象に、生成AIの基礎知識から応用的なプロンプト作成技術、さらには具体的な業務改善に繋げるためのアイデア創出までを網羅的に支援することで、生成AI利活用スキル向上と、より効果的な業務活用を推進します。

※当社プレスリリースより抜粋

AWSのGenU版 GaiXer 開発と進捗

Generative AI Use Cases (略称:GenU)

生成AIを安全に業務活用するための、
ビジネスユースケース集を備えたアプリケーション実装



1. エージェント対応

- ・ AIエージェントを作成し業務に活用可能

2. MCPサーバー対応

- ・ MCPサーバー内のデータ資産を活用

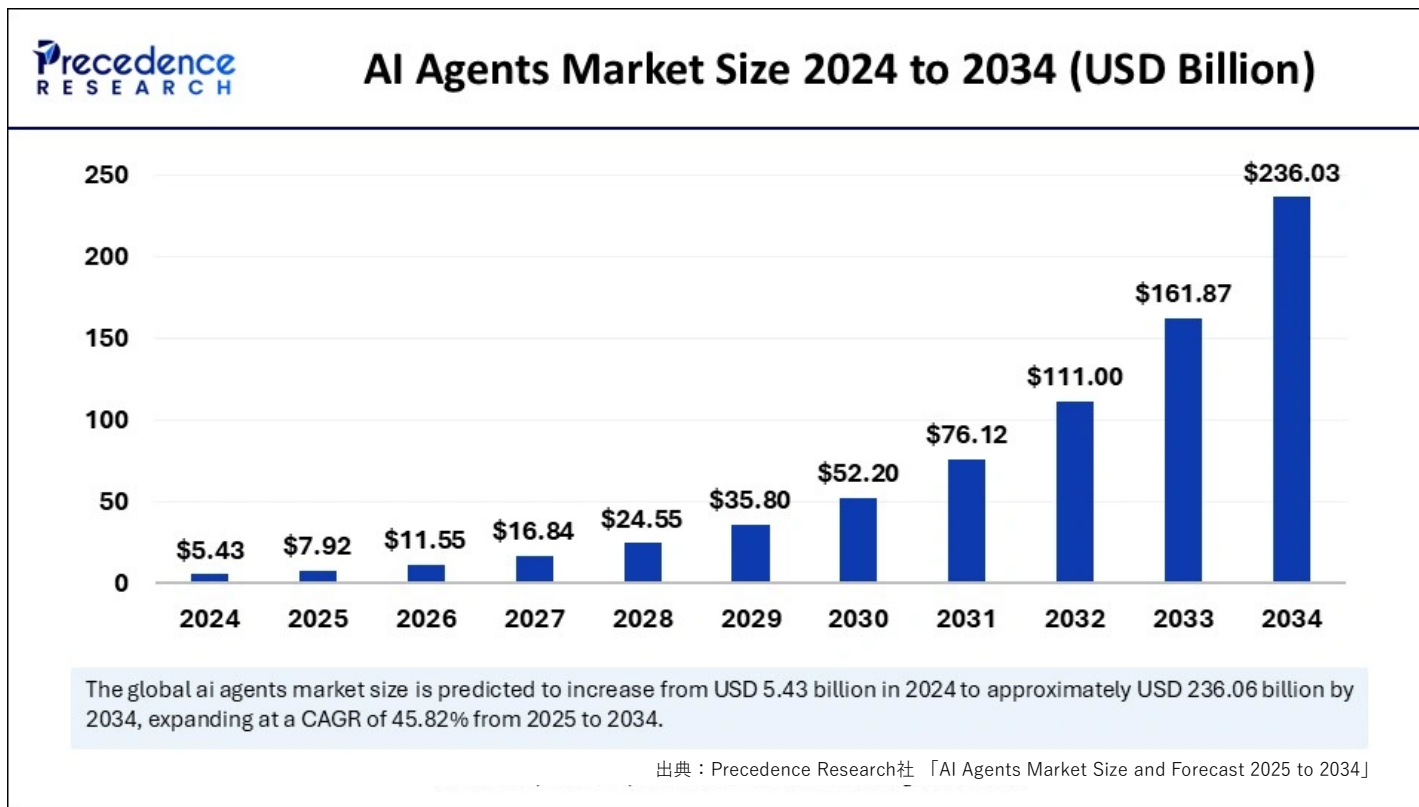
3. オープンソース

- ・ 柔軟性と拡張性が高く、利用用途にあわせられる

* GenU : AWS公式のオープンソース生成AIアプリケーション

AIエージェント市場規模

年平均45.82%の急成長市場。あらゆる業種業界にてAIエージェント化が求められる中、医療業界での事例を確立し、他業種への展開を図る。



世界のAIエージェント市場は2025年に79.2億米ドル、2034年には2360.3億米ドルに成長する見込みで、年平均成長率（CAGR）は45.82%と予測。

市場の主要な推進要因には、オートメーションの需要増加、バーチャルアシスタントやチャットボットの活用増、AIエージェントの費用対効果が挙げられる。

04

AI SaaS元年の成長戦略

ベンチャー企業の成長と海外企業の日本進出の機会を捉えて成長

国内の医療DXやAIスタートアップ企業と連携し、国内のみならず海外企業との提携も見据えていく

他国との比較（下表）では、日本の生成AI利用率は低いですが、海外企業から見ると可能性が高い市場と映る。

この市場に参入している国内スタートアップや日本市場に参入する海外企業とも提携しながら、日本の生成AI市場の成長を取り込んでいく

START-UP
成長とExitを
支援

M&A

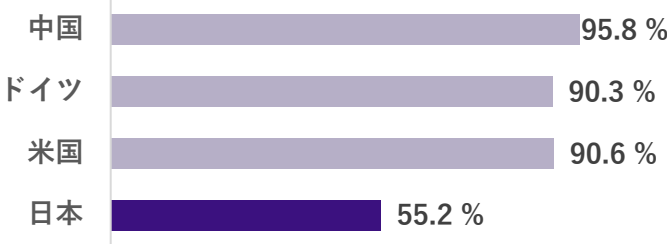
スイングバイ
IPO



the Cloud native Company

話せるメディカル社に続く
新たな資本提携先と協議中

企業における業務での生成AI利用率



弊社は、生成AIの利用率向上と共に、
お客様の事業価値を高めていく

出典: 総務省「国内外における最新の情報通信技術の研究開発
及びデジタル活用の動向に関する調査研究」 (2025)

データウェア
ハウス

AI SaaS
(Legal/EMedical Record)

SLM
※Small Language Model

海外
エンジニア



the Cloud native Company

海外企業の提携先と交渉中

生成AIとSaaSの世界市場は、驚異的な成長が予想される



GaiXerが起爆剤となり、この驚異的な成長市場で
FIXERは生成AIビジネスのリーディングカンパニーを目指す

GaiXerの成長可能性と信頼性

現在、世界の生成AI市場の勢いを生み出しているのはOpenAIやAnthropicといった「AIパワーハウス」や「AIジャイアント」と呼ばれる巨大な資本力を背景に、驚異的なスピードで進化する企業群とMicrosoft、AWS、Googleといったパブリッククラウドのプラットフォーマーもサービスを進化させています

一方、エンタープライズシステムに信頼性が求められる日本市場では、現場での生成AI利用のためのプラットフォーム開発にグローバル基準のクラウドネイティブな技術力が求められています。
この点において、創業以来クラウドネイティブな開発にこだわってきた我々FIXERの「GaiXer」は、日本社会における生成AI活用の一翼を担うと確信しております

GaiXerの応用事例	
営業・マーケティング	文案制作、顧客分析
開発	コードの自動生成、バグの自動検出、ソフトウェア開発の効率化
教育	個別学習の支援、教材の自動生成、教育効果と質の向上
クリエイティブ	音楽、画像、動画コンテンツの自動生成、クリエイティブ力の向上

新展開

GaiXerをフラッグシッププロダクトと位置づけ、次世代のプラットフォーム事業を展開する



出典 ※1 2024年3月 2024年版 MedTech市場調査レポート
※2 2024年1月 金融DX戦略レポート2024-2028
※3 2024年11月12日 石破首相発表

「自動化適用×生成AI活用」による利益率の向上

大規模プロジェクトにGaiXerを活用することで自社のコスト削減を実行し、生産性を向上
クラウド化によって実現してきた自動化の適用範囲をさらに広げていくことで利益率を向上

自動化の範囲	手法	自動化による恩恵
インフラ構築 (Infrastructure as Code; IaC)	クラウドインフラの構築・設定から正常稼働確認までのプロセスをプログラムで記述	手作業で実施していた作業を自動化することで、提供期間短縮・工数削減と共に、安定性が向上
インフラ運用	- 障害発生時には深刻度を自動判定して通知 - AIで障害予兆を検知し、障害を未然に防止	保守・運用の工数を削減し、運用品質が向上 (オンプレ時代の労働集約型からの脱却)
マイグレーション	クラウド移行(マイグレーション)案件の既存システムのアプリケーション移行において、機械学習による自動変換を実施	手作業による変換に比べて、期間・費用を大幅に抑えた上に、変換品質が向上
テスト	自動的にテストケースやテストデータを生成し、アプリケーション更新後にテストを自動実行	短いサイクルで実装・テストを繰り返すアジャイル開発における開發生産性の向上

生成AIによる更なる生産性向上

AIエージェント化の事例 GaiXer Medical Agent

①データのクラウド移管 ②アプリケーション開発 ③GaiXer生成AIプラットフォームを融合させることで、進化したAIエージェント『GaiXer Medical Agent』を提供開始



院内情報サマリーの自動生成が増加するほど生産性が上がり、AIエージェントプラットフォームを開発。医療AIアプリとプラットフォームの総称を「GaiXer Medical Agent」とし、今後の医療DXの中で大きな需要を見込むサービスとして、医療業界からも注目が集まっている。

05

Appendix

ビジネスモデル

- ▶ プロジェクト型サービスによってクラウドネイティブなシステムを構築
- ▶ クラウドやソフトウェアのライセンスをリセールし、マネージドサービス(保守・運用・エンハンス開発)を提供
- ▶ 顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化したSaaS事業も展開

プロジェクト型サービス

新規システムをクラウドネイティブに開発



マネージドサービス
による運用に移行

既存システムのクラウド移行



マネージドサービス

完成したエンタープライズクラウドシステムを
マネージドサービスにより
保守・運用・エンハンス開発



SaaS

顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化
高付加価値のSaaSとして提供



Microsoft Azure上のセキュアな
ネットワーク環境で駆動し、
専用環境で学習・生成を行う
エンタープライズ向けAGIプラットフォーム

ビジネスフロー

- ▶ グローバルクラウドベンダーや既存顧客からの紹介でプロジェクト型サービスを受注
- ▶ プロジェクト型サービスで開発したシステムはリセールとマネージドサービスに移行しストック売上へ
- ▶ マネージドサービスでは、顧客ニーズに対応したエンハンス開発（機能追加）も提供しており、一部フロー売上が発生



GaiXerの特徴



GaiXer Enterprise AGI Platform は業務に最適なLLMを順次追加搭載

複数LLMのいいとこどり が可能

200万トークンという膨大なコンテキストフレームにより、超長文の文章などの入出力が可能。
Googleの持つ従来のテクノロジーを駆使し、マルチモーダル(画像、動画、音声)対応が可能に

政府のセキュリティ評価制度 ISMAP-LIU 特別措置サービスリストに登録

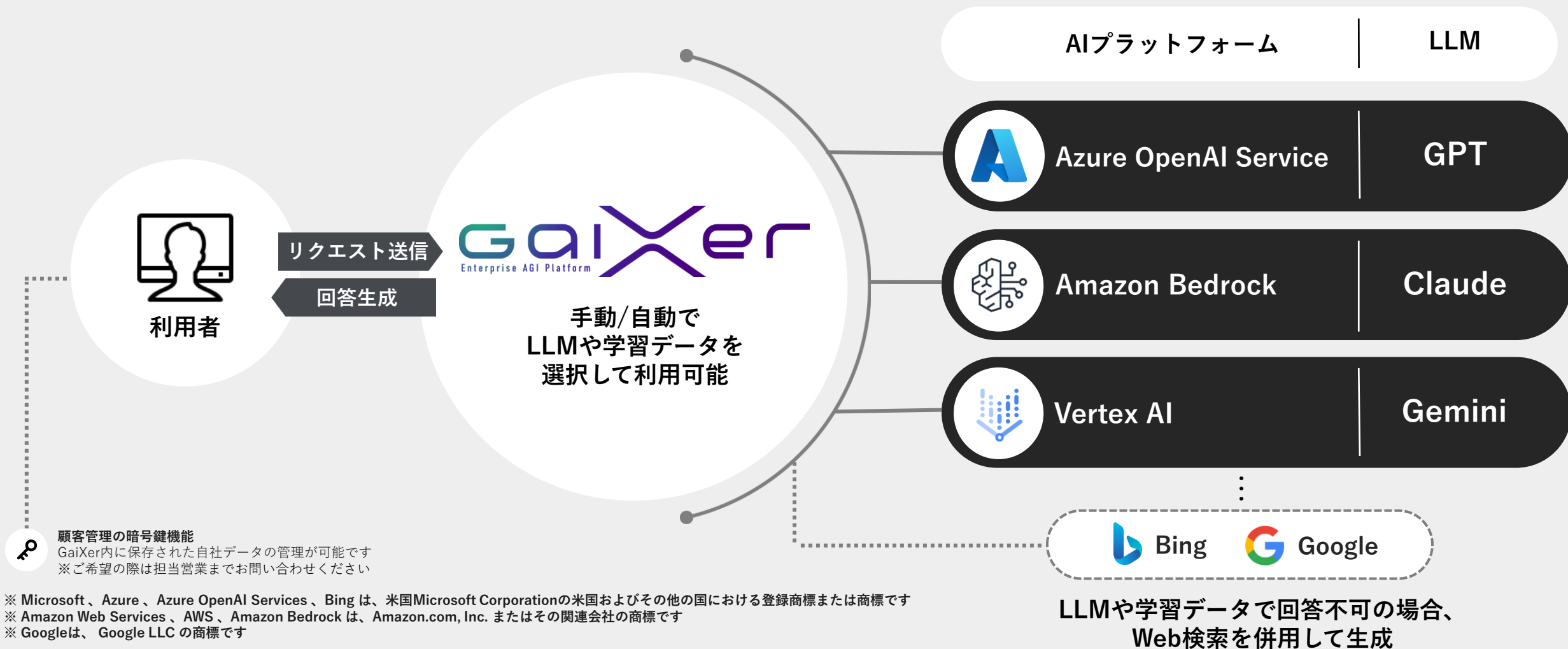
※Microsoft、Azureは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Amazon Web Services、AWSは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

※その他記載の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

マルチクラウドで高い可用性と生成品質を実現

ベンダーロックインを防ぎ、Azure、AWS、Vertex AIの3つのプラットフォームで提供可能



本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、
現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。
既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、
将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

従って、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

